

9月 は 障害者雇用 支援月間

働く場を求めています

民間企業における平成24年の障害者実雇用率は過去最高の1.69%になりましたが、まだ法定雇用率には届いていません。平成25年4月から障害者の法定雇用率が改定され2%に引き上げられるなど、さらなる雇用の拡大が求められています。障害のある方が地域の一員として生活するには、就労による自立を進めることも重要です。身近で安心して働ける場を広げるために、障害のある方の雇用をご検討ください。

【担当課】 障害者就労支援センター
 (立石5-27-1ウィメンズパル内) ☎3695-2224

事業主の方へ さまざまな支援を行っています

助成金などの支援

国や都をはじめ、区でも障害者雇用を進めていくために、納付金制度や助成金などの支援を行っています。ぜひご相談ください。

【問い合わせ】

▷ 特定求職者雇用開発助成金・障害者トライアル雇用奨励金などについて
 ハローワーク墨田 ☎5669-8609

▷ 障害者雇用納付金制度について

(独) 東京高齢・障害者雇用支援センター窓口サービス課
 ☎5638-2284

▷ 東京都中小企業障害者雇用支援助成金について

東京都産業労働局雇用就業部就業推進課 ☎5320-4663

▷ 葛飾区トライアル雇用促進奨励金について

区産業経済課 ☎3838-5554

障害者就労支援センターでの支援

障害者就労支援センターでは、障害のある方の就労相談の他に、企業との調整や相談などを行っています。また、障害のある方が職場に適應できるよう直接職場に出向いて、働く本人や事業主に助言などを行うジョブコーチ支援も行っています。

就労をめざす障害のある方へ

就労訓練の場として、区内には次のような通所施設があります。詳しくは区ホームページをご覧ください。障害福祉課か保健所にお問い合わせください。

就労移行支援事業所

一般企業などへの就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識や能力の向上のための訓練を行います。

就労継続支援事業所A型・B型

一般企業などでの就労が困難な人に、働く場を提供し、知識や能力の向上のために必要な訓練を行います。

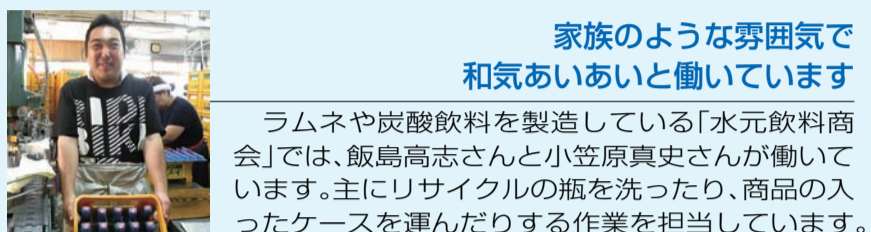
【問い合わせ】

▷ 障害福祉課 (身体障害のある方) ☎5654-8302
 (知的障害のある方) ☎5654-8263

▷ 保健所保健予防課 (精神障害のある方) ☎3602-1274

障害者就労支援センターをご利用ください

障害のある方が就労をめざす時から支援が始まります。求職活動から就職後まで、そして離職しても支援を行います。サービスの利用や登録についてはセンターにお問い合わせください。



家族のような雰囲気 和気あいあいと働いています

ラムネや炭酸飲料を製造している「水元飲料商会」では、飯島高志さんと小笠原真史さんが働いています。主にリサイクルの瓶を洗ったり、商品の入ったケースを運んだりする作業を担当しています。飯島さんは「家族のような雰囲気、仕事は楽しいです」、小笠原さんは「自分のペースで楽しく仕事をしています」と話してくれました。

お互いにプラスになります

水元飲料商会社長 根本恵司さん

障害のある方を採用しようと思ったきっかけは、実際に同業者で雇っている会社を見学したり、話を聞いたりして、自分の会社でも障害のある方が働けることが分かったからです。仕事の内容によっては他の社員と変わらない働きをしてくれますし、明るく前向きで一生懸命働いてくれるので、とても助かっています。会社にとっては2人の働く姿勢が他の社員に良い刺激を与え、障害のある方にとっては能力が発揮でき、お互いにプラスになっています。

最初から無理だと思ってしまうのではなく、実際に障害のある方を雇っている会社を見学して話を聞き、この仕事ならできると思うものを探ることが重要だと思います。



かつしか 障害者雇用促進 フェア ***

日程 9月2日(月)～13日(金)

会場 ウィメンズパル(立石5-27-1)

障害者の就労への理解を深め、雇用を促進するため、講演会や展示を行います。

パネル展

▷ 障害者就労支援センター登録者の働く様子
 ▷ 通所施設での就労支援の取り組み

講演会 障害者も戦力として雇用する 誰もが力を発揮し働くためには

【日時】 9月12日(木)午前9時30分～11時
 直接会場へ。

【対象】 障害者雇用に関心のある企業の方、就労を希望する障害のある方や家族、関係機関の方

【講師】 高田照和氏(高田紙器製作所代表取締役)



気付いてください！体と心の限界サイン

区内では、平成23年に107人、平成24年に111人の方が自殺で亡くなり、特に社会経験の豊富な中高年の男性が多く亡くなっています。

自殺の背景には、生活や健康の問題などいくつもの悩みが重なり、心理的に追い込まれていることなどが挙げられます。家庭や職場などで、お互いに心の不調を見逃さずに、早めに対処し、心の健康を保ちましょう。

【担当課】 保健所保健予防課 ☎3602-1274

心の病気や健康については お近くの保健センターへご相談を

▷ 精神科医による相談(予約制)
 ▷ 保健師による相談(随時)
 電話や面接で相談に応じます。

保健センター

- ▷ 青戸保健センター (青戸4-15-14健康プラザかつしか内) ☎3602-1284
- ▷ 新小岩保健センター(西新小岩4-21-12) ☎3696-3781
- ▷ 小菅保健センター(小菅2-19-21) ☎3602-8403
- ▷ 金町保健センター(金町4-18-19) ☎3607-4141
- ▷ 水元保健センター(東水元1-7-3) ☎3627-1911
- ▷ 高砂保健センター(高砂3-26-9) ☎3672-8135

9月は東京都自殺対策強化月間です

- 一人でも悩みを抱えず、周りの人や相談機関に相談しましょう。
- 相談窓口
- 東京都自殺相談ダイヤル
～ここらといのちのほっとライン～
☎0570-087478 午後2時～翌日午前5時30分
(9月9日(月)～13日(金)は24時間)
- 自殺予防いのちの電話
☎0120-738-556
9月10日(火)午前8時～11日(水)午前8時
54時間特別相談(東京自殺防止センター)
☎0120-58-9090
9月7日(土)午前0時～9日(月)午前6時
自死遺族のための電話相談(全国自死遺族総合支援センター) ☎3261-4350
9月7日(土)～9日(月)午前10時～午後10時
自死遺族のための電話相談(グリーンケア・サポートプラザ) ☎3796-5453
9月10日(火)～13日(金)午前10時～午後10時

「こころの体温計」で ストレスチェック

パソコンや携帯電話で、ストレス度や、落ち込み度がチェックできるシステムです。健康状態や人間関係などの質問11問に答えると、ストレス度や落ち込み度が水槽の中で泳ぐ金魚、猫などの絵になって表示されます。

区ホームページか <https://fishhbowindex.jp/katsushika/> からご利用ください。



携帯電話はこちらから

